

平成19年度 功 勞 賞 受 賞 者

(市町村体育協会推薦)

番号	氏 名	ス ポ ー ツ 関 係 歴	推薦団体	推 薦 理 由
1	わだ たもん 和田 多聞	昭和50年4月～現在 河北町卓球連盟 副会長 昭和54年4月～平成10年3月 河北町体育協会 副会長 平成10年4月～18年3月 河北町体育協会 会長	河北町 体育協会	昭和50年当時、町民の戦績は目覚しく「卓球の町河北」と言わせしめた所以となった。卓球を競技スポーツだけでなく一般にも普及させ、町民スポーツ活動の柱にすべく奔走し5年後約100町内会(区)対抗の卓球大会を実施。平成9年からは区対抗スポーツ大会の仕組みを子どもから熟年まで参加できるよう改革した。レクリエーションスポーツを取り入れての交流大会は、類まれなスポーツ大会として全国的に注目を集めている。
2	ただえい いち 武田 英一	平成 5年 5月～10年 4月 山辺町体育協会 理事長 平成10年 5月～19年 4月 山辺町体育協会 副会長	山辺町 体育協会	本協会の加盟団体である山辺町体育協会において理事長を5年、副会長を9年務め、山辺町並びに山形県の体育・スポーツの普及と振興に尽力された。
3	ながおか しげき 長岡 茂樹	平成 8年 4月～10年 3月 山辺町体育協会 事務局長 平成11年 5月～19年 4月 山辺町体育協会 理事長	山辺町 体育協会	本協会の加盟団体である山辺町体育協会において事務局長を2年、理事長を8年務め、山辺町並びに山形県の体育・スポーツの普及と振興に尽力された。
4	よこやま いさお 横山 勲	平成 9年4月～現在 金山町体育協会 副会長 平成13年4月～17年3月 山形県体育協会 理事	金山町 体育協会	本協会の加盟団体である金山町体育協会の役員として、10年以上の永きにわたり、地域スポーツの普及振興に多大な功労があった。

(競技団体推薦)

5	やぐち よしゆき 矢口 良行	昭和52年4月～平成19年 3月 山形県水泳連盟 理事 平成19年4月～現在 山形県水泳連盟 監事	山形県 水泳連盟	昭和50年代、山形県学童水泳大会をテレビ放映するために尽力された。このテレビ放映の実現により、本大会がグレードアップした。底辺層の普及、拡大の功績は誠に大である。
6	さとう かんじ 佐藤 完司	昭和56年4月～現在 山形県バレーボール協会理事 平成 7年4月～ " 山形県バレーボール協会常任理事 平成 7年4月～ " 酒田地区バレーボール協会理事長 平成17年4月～ " 山形県バレーボール協会参与	山形県 バレーボール 協会	山形県バレーボール協会の常任理事・総務委員の役職を務め県バレーボール協会の規約整備・組織強化に貢献するとともに酒田地区バレーボール協会理事長としてVリーグ開催誘致・東北総体開催などの事業に取り組み地区協会の組織強化に尽力。地域バレーボールの振興発展・役員指導育成に寄与した功績は大である。
7	いとう しゅうじ 伊藤 秀二	昭和58年4月～現在 山形県バレーボール協会理事 平成 6年4月～ " 山形県バレーボール協会常任理事 平成 6年4月～ " 新庄地区バレーボール協会理事長 平成19年4月～ " 山形県バレーボール協会参与	山形県 バレーボール 協会	山形県バレーボール協会の常任理事・総務委員の役職を務め県バレーボール協会の規約整備・組織強化に貢献するとともに新庄地区バレーボール協会理事長として地区協会の組織強化に努め、地域バレーボールの競技力向上・審判員の指導育成に尽力した功績は大である。
8	いがり みつまさ 猪狩 光正	昭和53年4月～平成4年3月 山形県ウエイトリフティング協会強化副部長 平成 4年4月～現在 山形県ウエイトリフティング協会 理事	山形県 ウエイトリフティング 協会	第21回大分国体よりバンタム級入賞以来、4年連続入賞。選手強化及び普及に尽力し、べにばな国体をはじめ各種大会や本県WL協会理事を長年にわたり務め、協会の運営に力を注いだ功績は大きい。
9	きむら ゆりこ 木村 由利子	昭和60年4月～平成20年1月山形県ソフトテニス連盟理事	山形県 ソフトテニス 連盟	昭和60年から山形県レディースソフトテニス連盟の役員として組織の強化と底辺拡大並びに普及、振興に努めた。県内ジュニアクラブへの指導、強化に長年取り組み、優秀選手の発掘、強化にも多大なる貢献をし、特にレディース部門での山形県ソフトテニス連盟に対する貢献度は、計り知れないものがある。
10	くろさか こういち 黒坂 浩一	昭和57年4月～59年3月 中体連卓球専門部委員長 昭和57年4月～平成2年3月 山形県卓球協会 理事 平成 2年4月～14年3月 山形県卓球協会 顧問 平成14年4月～20年3月 山形県卓球協会 副会長	山形県 卓球協会	河北町立谷地中学校並びに河北中学校の卓球部顧問として、幾度となく県大会で優勝し、指導者としての手腕を大いに発揮された。べにばな国体卓球競技会場誘致に尽力され、一流選手・チームを河北町に数多く招致し県内選手と接する機会を設け、べにばな国体卓球競技総合優勝に大きく貢献。また、平成9年河北町で開催された全国健康福祉祭では、競技運営・選手強化に貢献された。
11	くだいら たかお 工平 貴夫	昭和43年4月～現在 山形県野球連盟 審判員 平成 6年 3月～平成18年12月 全日本軟式野球連盟審判技術指導員 平成13年1月～19年1月 東北野球連盟 特別理事 平成13年4月～現在 山形県野球連盟 常任理事 平成17年4月～ " 山形県野球連盟 審判部長	山形県 野球連盟	長年にわたり審判技術指導員及び野球連盟役員として、野球競技力向上を図り本県野球の発展に多大に貢献した。また、野球界のリーダーとして地域野球の発展に尽力され、特に技術指導員として審判員の指導育成に貢献した。東北野球連盟ブロック幹事(審判)として東北地区の野球発展及び審判員の育成にも貢献している。

番号	氏名	スポーツ関係歴	推薦団体	推薦理由
12	さとう しげたか 佐藤 重孝	昭和62年4月～平成19年12月 山形県ソフトボール協会理事 平成8年4月～現在 山形県ソフトボール協会審判委員長 平成10年4月～" 東北ソフトボール協会審判副委員長 平成16年4月～" 東北ソフトボール協会 理事 平成20年1月～" 山形県ソフトボール協会 副理事長	山形県 ソフトボール 協会	永年にわたり、審判員として活動されるとともに、平成2年からは山形県ソフトボール協会の審判副委員長として、べにばな国体における審判員の養成と技術向上に多大の貢献をされ、その後日本女子ソフトボールリーグの審判員として卓越した技術と識見で任務を遂行された。また、役員としても長年運営に精励され、ソフトボールの普及と振興に寄与された功績は顕著である。
13	しばやただ お 渋谷 忠雄	昭和54年4月～平成元年3月 山形県バドミントン協会事務局次長 平成元年4月～14年3月 山形県バドミントン協会常務理事・広報委員長 平成14年4月～17年3月 山形県バドミントン協会副理事長 平成17年4月～現在 山形県バドミントン協会 監事 平成10年4月～18年3月 山形県ジュニアバドミントン育成会事務局長 平成18年4月～現在 山形県ジュニアバドミントン育成会理事長	山形県 バドミントン 協会	永年にわたり、山形県バドミントン協会広報委員長、副理事長、監事等を歴任。べにばな国体時には報道主任として多大な貢献をされた。現在、山形県ジュニアバドミントン育成会を設立、理事長兼事務局長として組織の強化・底辺拡大とジュニア層の健康・体力の育成に努め、全国大会等への参加選手の指導にも多大なる貢献をし、その功績は顕著である。
14	かの あきお 鹿野 昭男	昭和62年4月～平成6年3月 置賜地区バドミントン協会理事長 平成6年4月～10年3月 米沢市バドミントン協会 理事長 平成10年4月～17年3月 米沢市バドミントン協会 副会長 平成17年4月～現在 米沢市バドミントン協会 会長 昭和46年4月～平成17年3月 山形県バドミントン協会理事 平成17年4月～現在 山形県バドミントン協会 副会長 平成11年4月～現在 山形県教職員バドミントン連盟会長	山形県 バドミントン 協会	永年にわたり、山形県バドミントン協会強化副委員長、副会長を歴任。べにばな国体時には強化コーチとして多大な貢献をされた。県・地区の役員を兼ねながら高校生の指導・強化に取り組み、優秀な選手を育成した。現在、米沢バドミントン協会の会長として普及・振興に多大な業績を挙げられ、その功績は顕著である。
15	いとう ゆうき 伊藤 祐紀	昭和63年4月～現在 山形県剣道連盟 理事 昭和60年4月～" 酒田地区剣道連盟 審査員 平成8年4月～14年3月 酒田地区剣道連盟 理事 平成14年4月～現在 酒田地区剣道連盟 理事長 平成15年4月～" 遊佐町剣道連盟 副会長	山形県 剣道連盟	本県剣道界の代表選手で、全日本剣道選手権大会、全日本東西対抗剣道大会、国民体育大会剣道競技等に出場し、ねんりんピック全国優勝など第一線の選手であり、常に鍛錬・修練を欠かさず指導者・選手としての範を示し、県内多くの剣士に感銘を与え、指導者としても永年若年選手の強化育成と幼少年の剣道普及振興に努めており、本県剣道の隆盛に多大の貢献をした功績は大きい。
16	うの せいすけ 宇野 靖介	平成4年4月～11年3月 山形県ペタンク協会 理事長 平成11年4月～現在 山形県ペタンク協会 会長	山形県 ペタンク 協会	平成9年第10回全国健康福祉祭・平成11年第12回全国スポーツレクリエーション祭のペタンク競技審判長として成功に尽力された。山形県只一人の公認検定員として、また指導員、審判員の資格を持ち、県内一円への普及拡大に多大なる業績を挙げた。
17	あねざき かつろう 姉崎 勝郎	昭和47年4月～平成12年3月 山形県銃剣道連盟 理事 平成12年4月～16年3月 山形県銃剣道連盟 理事長兼事務局長 平成16年4月～19年3月 山形県銃剣道連盟 理事長 平成19年4月～現在 山形県銃剣道連盟 副会長兼理事長	山形県 銃剣道 連盟	昭和33年から銃剣道の選手、監督、指導者として数々の功績を挙げ、特に平成7年の全国高齢者武道大会個人戦(55～67歳)の部で準優勝するなど、高齢者にもかかわらず現在も活躍されている。役員としては、べにばな国体総合優勝、全日本銃剣道大会優勝等、多くの実績を遺している。特に全日本銃剣道連盟及び東北ブロック協議会の役員として寄与するとともに、山形県銃剣道連盟の充実発展に貢献されている。

## 平成19年度 功労賞(ライオンズスポーツ賞)受賞者

(市町村体育協会推薦)

番号	氏名	スポーツ関係歴	推薦団体	推薦理由
1	おかざき あきひろ 岡崎 昭博	平成18年度 全国中学校陸上競技選手権大会 岡部ソフィ満有子(宮川中) 四種競技 優勝 3110点(日本中学新) 平成18年度 ジュニアオリンピック陸上競技大会 岡部ソフィ満有子(宮川中) 走り高跳び 優勝 1m70cm	上山市 体育協会	その他にも平成17年度宮川中女子ソフトボール部県大会優勝・東北大会ベスト8、平成元年度山戸中ソフトテニス部女子個人県大会優勝・東北大会ベスト8など、他競技においてもその指導力を発揮し、本県中学生の体育・スポーツの普及・振興に功労されている。
2	すずき けんいち 鈴木 憲一	平成18年度ジュニアオリンピック陸上競技大会 五十嵐理沙(上山北中)女子B 100m 優勝 12"41 平成19年度ジュニアオリンピック陸上競技大会 五十嵐理沙(上山北中)女子A 100m 優勝 12"97	上山市 体育協会	功績のとおり、優秀な選手を育成し、本県中学生の体育・スポーツ、特に陸上競技の普及・振興に功労されている。

(競技団体推薦)

番号	氏名	スポーツ関係歴	推薦団体	推薦理由
3	きむら ふみひろ 木村 文浩	平成19年 秋田国体少年男子K-4 200・500m優勝 (奥瀬裕一朗・佐藤匠・安達裕太・佐藤翔也) 平成18年 兵庫国体成年女子K-1 200・500m優勝(竹屋美紀子) 平成17年 岡山国体成年女子K-1 200・500m優勝(竹屋美紀子) 平成17年 岡山国体少年男子K-2 200m 優勝(芦野貴士・高澤賢二) 平成17年 岡山国体少年女子K-2 200・500m優勝(大津由香・藤田菜穂)	山形県 カヌー協会	昭和61年山梨国体準優勝以来10年にわたり優勝3回を含み15回入賞している。昭和63年谷地高校教諭となり、平成7年からは選手活動を離れ県選手の育成に尽力している。氏が遺した国体成績は、優勝31、準優勝23、第3位17、入賞56。特筆すべきは、国際大会3位に輝き、アテネオリンピック選手となった竹屋美紀子のカヌー操作や情熱は、氏の指導によるところ大である。
4	たかおか くにこ 高岡 邦子	平成17年 岡山国体少年男子K-2 200m 優勝(芦野貴士・高澤賢二) " 少年女子K-2 200・500m優勝(大津由香・藤田菜穂) 平成16年 埼玉国体少年女子K-2 500m 優勝(大津由香・藤田菜穂) 平成15年 静岡国体少年男子K-2 200・500m優勝(佐藤大輔・木村新人)	山形県 カヌー協会	高校・大学在学中、国体等多くの大会で優勝・入賞を果たし、本県カヌー界を牽引してきた。その後寒河江高校教諭となり、同校カヌー部顧問・国体少年監督として谷地高校や寒河江高校の枠を超えた指導により多くの県勢優勝に貢献した。これらの戦績は県民に喜びを与え、多くの生徒に自身を与え続けてきた。カヌー競技を通して本県体育活動に大きく寄与された。
5	さとう まなぶ 佐藤 学	第15回ジュニア選抜競歩大会 団体優勝 第16回ジュニア選抜競歩大会 団体優勝 平成18年全国高校総体 陸上200m優勝(安孫子充裕) 第61回国民体育大会 陸上400m優勝(安孫子充裕) 第62回国民体育大会 陸上200m優勝(高橋優香)	山形陸上 競技協会	功績のとおり、全国高校総体、国民体育大会において、安孫子充裕、高橋優香の指導、監督者として優勝に導いた。

## 平成19年度 感謝状受賞者

(競技団体推薦)

番号	氏名	スポーツ関係歴	推薦団体	推薦理由
1	しょうじ みはる 庄司 三春	平成 7年4月～17年3月 山形県バウンドテニス協会副会長 平成 6年4月～17年3月 酒田市バウンドテニス協会 会長	山形県 バウンドテニス 協会	4サークル66名の会員で平成6年に酒田市バウンドテニス協会を設立し、会長就任。翌年会員を95名に増やし山形県バウンドテニス協会の副会長に就任した。その後、酒田市にサークルを11に増やすとともに、鶴岡市、藤島町にも拡大するなど多大の貢献をされた。特に、平成16年には全国で4番目のバウンドテニスのスポーツ少年団を酒田五中に旗揚げし、高く評価されている。

## 平成19年度 特別賞受賞者

氏名	受賞事項	推薦理由
山形県山岳連盟	チベットの聖山ヤラシャンポ峰初登頂	県山岳連盟の50周年記念事業に海外登山を企画し、平成13年ヤラシャンポに挑戦したが、連日の降雪と雷の襲来に悩まされ途中で断念。その後も、中国登山協会との連絡を保ち、コースや気象状況などの研究を進めてきた。今年派遣した登山隊も、風化したもろい岩峰など予想を超える多くの困難があり、ルート工作に時間を要した。1回だけの頂上アタックチャンスを生かし10月16日6時21分初登頂を遂げた。不屈の決意で成し遂げられた偉業であり、県民に大きな感動を与えた。